

## 〔付〕 2. 学校法人 慈恵大学中期目標・中期計画・平成24年度事業計画

### 〔本学の理念・目的・使命〕

- 理念：医学・看護学の教育・研究とその実践を通して人類の健康と福祉に貢献する。
- 目的：質の高い医師と看護専門職者の育成と臨床を支える医学・看護学研究を推進する。
- 使命：社会のニーズに応えることのできる医師・看護師・保健師の育成と医学・看護学研究を振興して人類の健康と福祉に寄与する。

### 〔本学が目指す将来像（ビジョン）〕

- 社会の共感を得て、国際的にも高い評価を受けることができる質の高い医科大学を目指す。

#### 質の高い医学・看護学教育

- (1) 医学・看護学を深く理解し、豊かな人間性を具えた全人的な医療を実践できる医師・看護師・保健師を育成するための特色ある卒前・卒後教育システムを構築する。
- (2) 4 附属病院の特徴を活かした多様な医師・看護師・保健師育成プログラムを策定する。
- (3) 看護学科と看護専門学校は、協力して看護生涯学修の出発となる基礎能力の育成に組織的に取り組む。
- (4) 大学院教育の充実と改善を推進する。

#### 本学の特色ある研究と臨床に還元できる研究の推進

- (1) 本学に継承されている特色ある研究を発展させる。
- (2) 臨床研究と疫学研究を推進するシステムを構築する。
- (3) 臨床を支える医学・看護学研究を推進する。
- (4) 先進医療を開拓するための医学研究を推進する。

#### 質の高い医療の提供

- (1) 社会のニーズに応えることができる質の高い医療を実践できる附属病院を目指す。
- (2) 安心で安全な医療を提供できる医療システムを構築する。
- (3) 高度で先進的な医療を開発し実践する。
- (4) 医師、看護師・保健師としての技術を向上させるための取り組みを行う。
- (5) 附属病院の特色を活かして各附属病院の活性化と機能分化を図る。

### I 中期目標・中期計画期間

平成19年4月1日から平成25年3月31日までとする。

## 〔基本方針〕平成24年度の基本方針と重点施策

### 教育に関する重点施策

#### 質の高い医療人の育成

- ・ 卒前教育の改善と充実を図る。
- ・ 卒後教育を改善して研修医とレジデントの応募者増を図る。
- ・ 看護学科・看護専門学校は、協力して卒業時の技術到達目標に関する評価を周知する。
- ・ 看護学専攻修士課程を看護学科、看護部、看護専門学校と連携させて発展させる。

### 研究に関する重点施策

#### 医学・看護学研究の推進

- ・ 各講座を中心に行われている特色ある伝統的研究と共に先進的研究を推進する。
- ・ 新たな研究分野を開拓する。
- ・ 研究推進のための競争的研究資金の獲得を目指す。
- ・ 医療現場と連携して看護学研究を振興する。

### 医療に関する重点施策

#### 医療安全の推進

- ・ 医療安全体制を検証し、国民に信頼される医療安全システムを構築する。

#### 地域医療への貢献

- ・ 附属病院の救命救急体制を充実させ地域医療に貢献する。
- ・ がん診療に関する専門職者の育成に努める。
- ・ 柏病院の救急を強化し、増床計画を含め地域医療への貢献に努める。
- ・ 第三病院の収支構造の改善を図る。

#### 職種間の協力体制

- ・ チーム医療を構築するための人材育成を推進する。

### 大学運営に関する重点施策

#### 法令遵守の徹底

- ・ 教職員の法令遵守精神を向上させる。

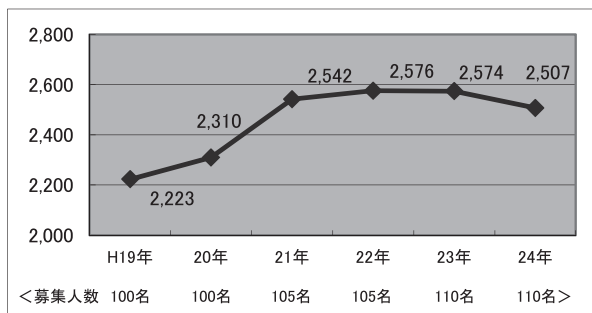
#### 安定した財政基盤の構築

- ・ 大学における収支構造の点検を行う。
- ・ 機関別の事業計画に基づく中期財務計画を策定する。
- ・ 収支状況の月次把握ができるようにする。
- ・ 医療収入の増加と医療経費の削減を図り、堅調な財政基盤の構築を図る。
- ・ 後発薬品の採用を推進し医療経費の削減を図る。
- ・ IT関連経費の適正化と全体計画検討組織を整備する。

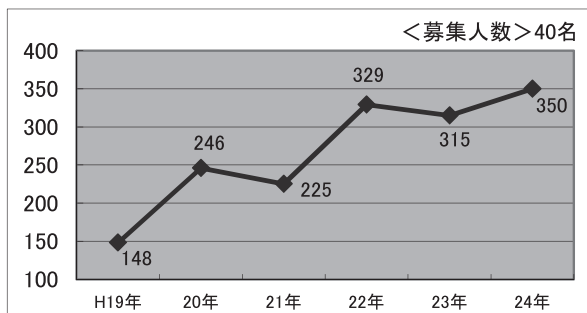
#### 広報活動の充実

- ・ 広報誌、ホームページを充実させ、本学の教育・研究内容および附属病院の診療内容などを社会にアピールすると共に病診連携、病病連携、同窓会員への情報発信に活用する。
- ・ 大学建築マスタープラン・西新橋キャンパス整備計画に関する計画を推進する。
- ・ 地球温暖化防止関連法規を遵守し、エコ活動を推進する。
- ・ 大規模災害時の組織の再整備とBCP（事業継続計画）を策定する。
- ・ 今期中期目標・中期計画を評価し、次期中期目標・中期計画を検討する。

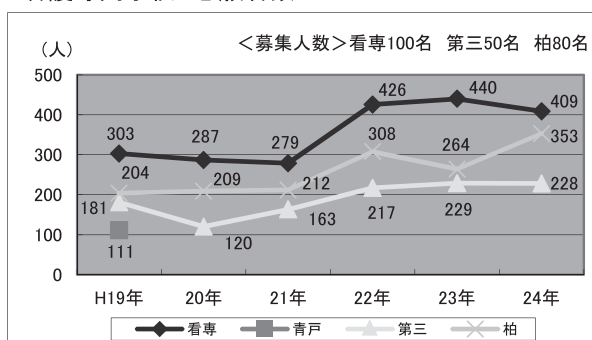
大学志願者数(医学科)



大学志願者数(看護学科)

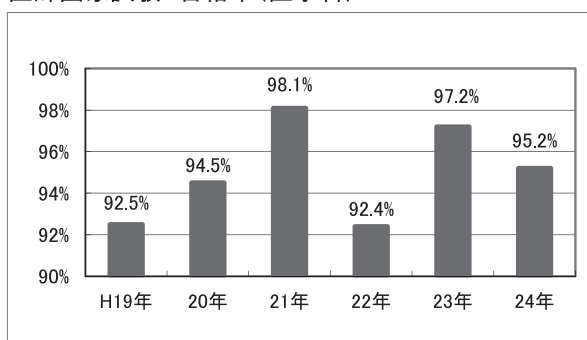


4看護専門学校 志願者数

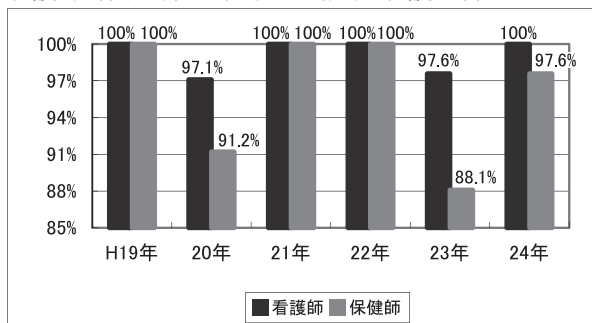


※青戸看護専門学校はH20年度より募集中止

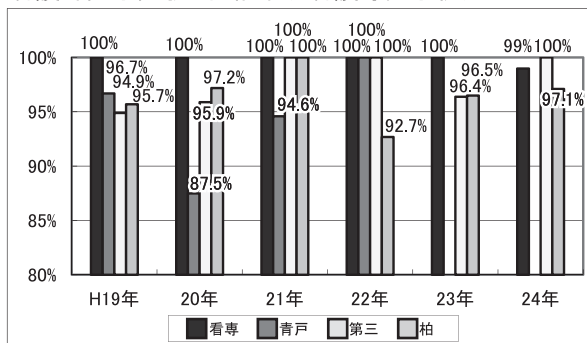
医師国家試験 合格率(医学科)



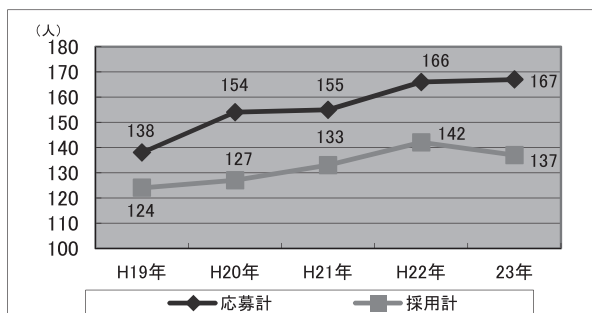
看護師・保健師国家試験 合格率(看護学科)



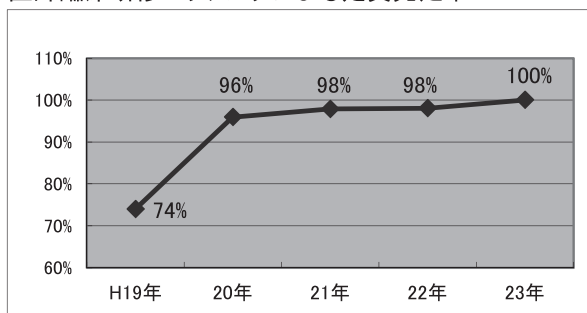
看護師国家試験 合格率(4看護専門学校)



レジデント応募者数、採用数

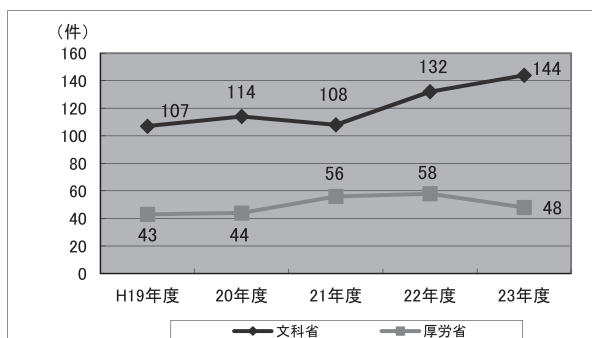


医師臨床研修マッチングによる定員充足率

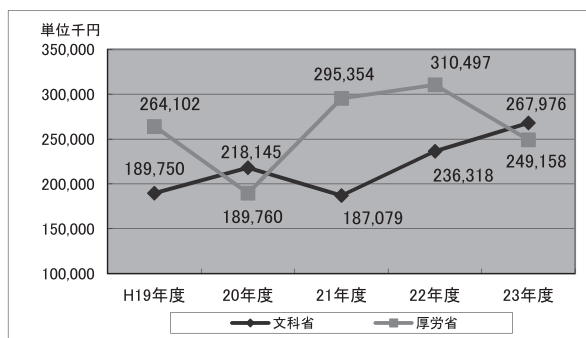


## 研究に関する重点施策：参考指標

### 科学研究費補助金 採択件数

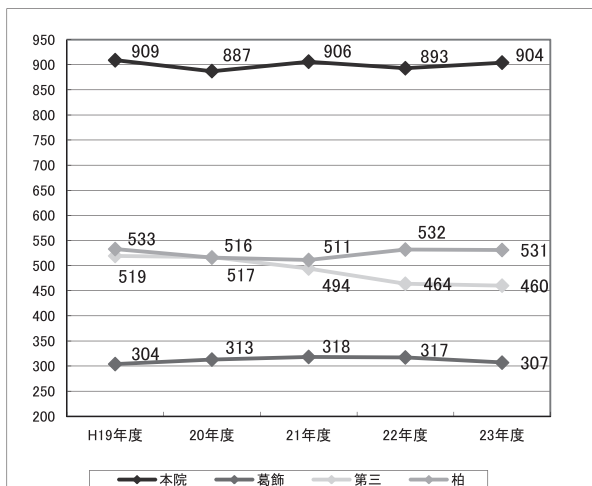


### 科学研究費補助金 採択金額

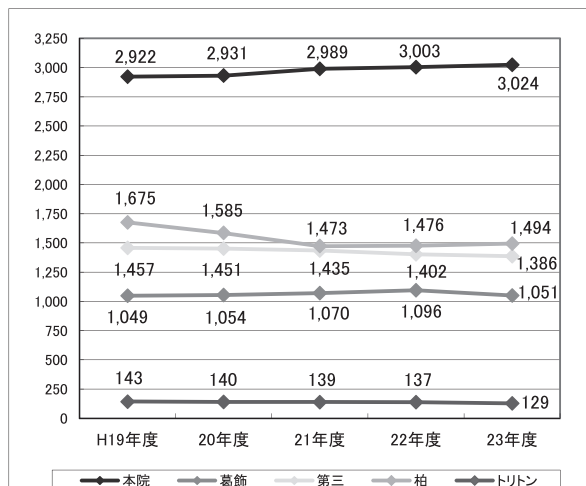


## 医療に関する重点施策：参考指標

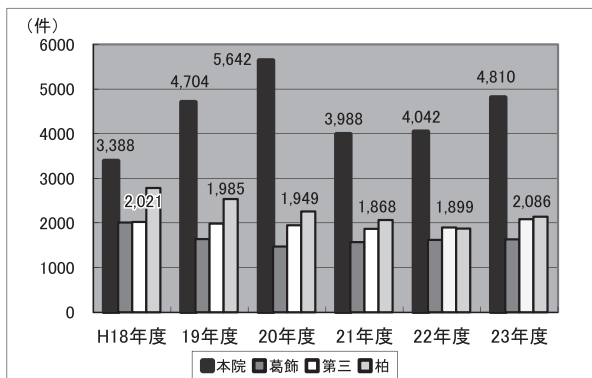
### 【入院】1日平均患者数



### 【外来】1日平均患者数

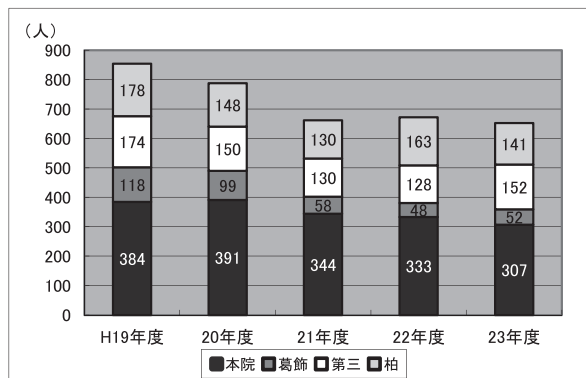


### インシデント・アクシデント報告件数



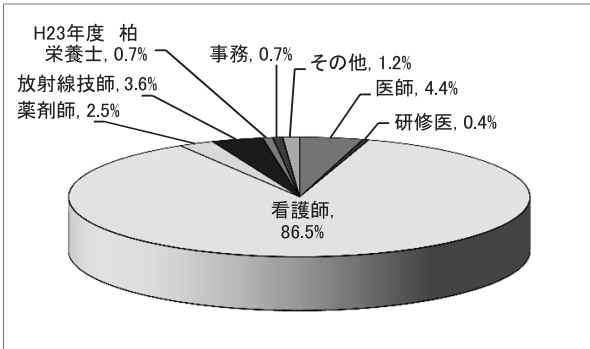
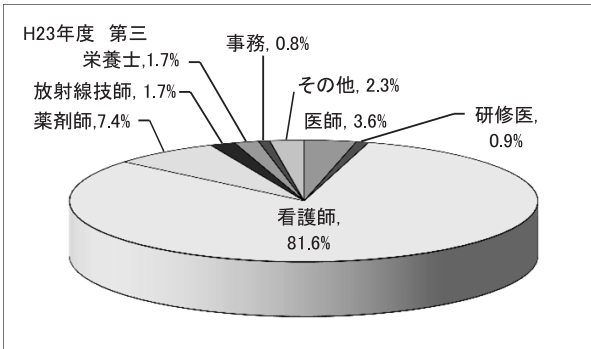
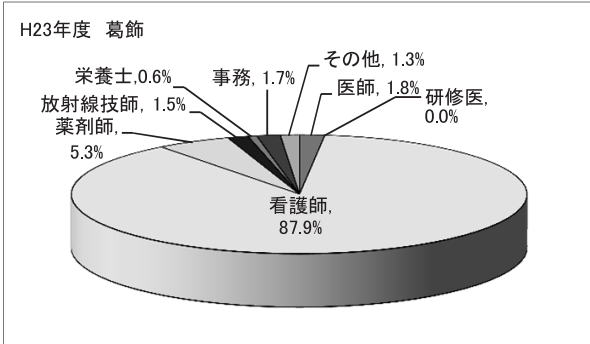
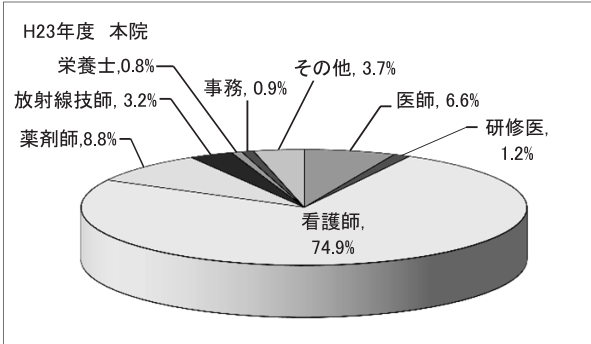
※H21年度の報告件数の減少はオーダリングシステムのクリック忘れを改善

### チーム医療構築WG参加者数

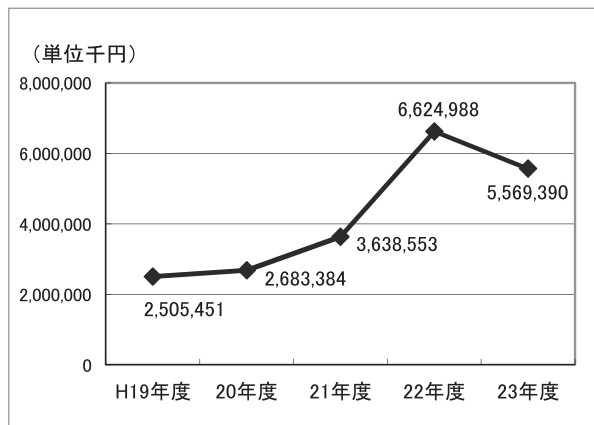


※4機関の開催合計数は平成19・20年度が10回、平成21・22年度が8回である。  
(本院、葛飾医療センターの開催回数が各1回減)

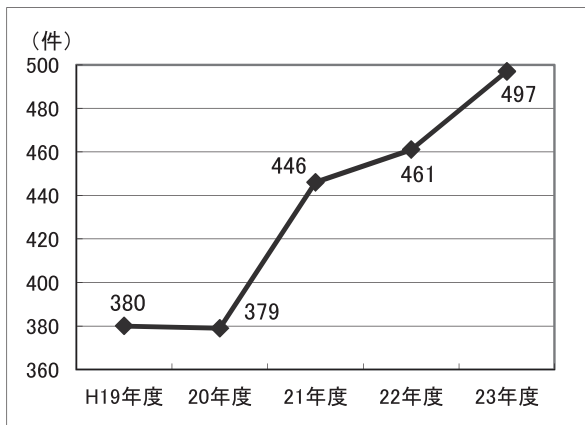
インシデント・アクシデント報告 職種別報告件数



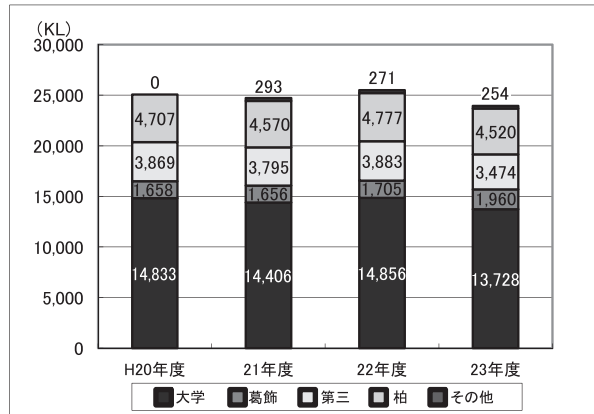
### 経常収支



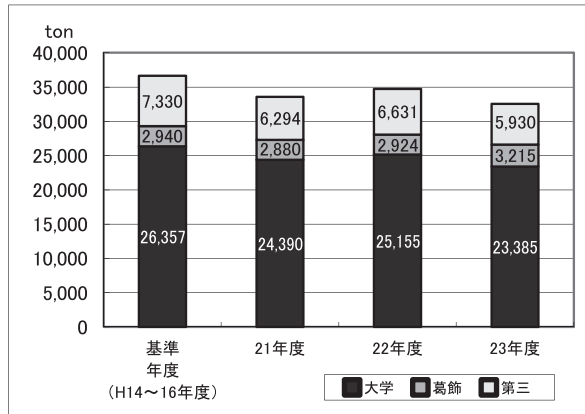
### メディア掲出件数



### 原油換算使用量(省エネ法対応)

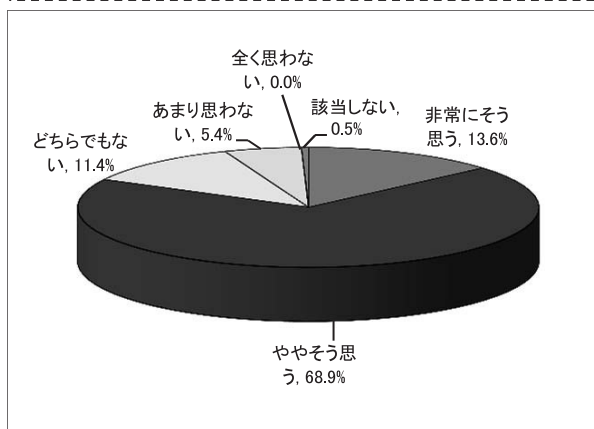


### CO2削減状況(東京都環境確保条例対応)



### 病院教職員アンケート調査結果より

職場に関する設問 3  
あなたは病院(大学)の理念・使命・目標などを理解していますか？



H23年6月30日～7月9日実施

## I. 中期目標・中期計画期間

平成19年4月1日から平成25年3月31日までとする。

## II. 「中期目標・中期計画・平成24年度事業計画」の項目

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
<p>I. 大学の教育・研究・診療等の質の向上に関する目標</p> <p>1. 教育に関する目標</p> <p>(1) 教育の成果に関する目標</p> <p>○卒前教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広く深い教養を身につけた医師・看護師を育成する。</li> <li>・エビデンスに基づいた医療判断が出来る医師・看護師を育成する。</li> <li>・医学生の臨床能力の向上を図る。</li> <li>・研究的態度を身に付けた医師・看護師を育成する。</li> <li>・国際感覚を持った医師・看護師育成のために外国語教育を充実させる。</li> <li>・医師・看護師・保健師国家試験合格率の向上を図る。</li> <li>・学習効果を適切に評価する。</li> <li>・入学後の学習支援を行い大学教育が滞りなく行えるように配慮する。</li> <li>・卒前教育における大学間連携を推進する。</li> <li>・自ら学ぶ態度を涵養する。</li> </ul>	<p>I. 大学の教育・研究・診療等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1. 教育に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>(1) 教育の成果に関する措置</p> <p>①教養教育のあり方を検討する。</p> <p>②研究的態度を涵養するためのカリキュラムを改善充実させる。</p> <p>③医学科と看護学科でエビデンスに基づいた判断能力を涵養するためのカリキュラムを改善充実させる。</p> <p>④外国語教育の改善を図る。</p> <p>⑤学生の個性を尊重した教育を実施する。</p> <p>⑥国家試験を視野に入れた評価方法の改善を図る。</p>	<p>学事課 (教学委員会)</p>	<p>①-1 学生アンケート結果などを参考に学生ニーズの分析を行い、教養教育のあり方を検討する。</p> <p>①-2 高学年へ教養科目を導入し教養教育のあり方を検討する。</p> <p>①-3 中期計画期間中に教養教育の改善について評価する。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新ユニット「Early research exposure」を導入し、研究的態度を涵養するカリキュラムを実施する。</li> <li>・学生に研究的態度が涵養されるカリキュラムとなっているか評価する。</li> </ul> <p>③-1 クリニカルクラークシップ指導医養成FDの継続実施や平成22年度改訂版モデルコアカリキュラムに沿ったカリキュラム改定により、エビデンスに基づいた判断能力を涵養するカリキュラムを実施する。</p> <p>③-2 内容刷新した「医療情報・EBM I～IV」がエビデンスに基づく判断能力を涵養するカリキュラムか検証する。</p> <p>③-3 学生にエビデンスに基づく判断能力が涵養されるカリキュラムとなっているか評価する。</p> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能力別クラスにより外国語教育を改善し国際感覚を身に付ける。</li> <li>・外国語教育の改善について評価する。</li> </ul> <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床実習に選択カリキュラムを導入し、学生の個性を尊重した自由度の高い内容とする。</li> <li>・個性を重視した教育が実施されているか評価する。</li> <li>・学習ポートフォリオを取り入れた看護学演習を実施する。</li> </ul> <p>⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師国家試験の傾向に沿った医学卒業総括試験を行い、医師国家試験合格率を向上させる。</li> <li>・ブラッシュアップした国家試験問題をコンピュータ試験を導入し、看護師・保健師の国家試験合格率を向上させる。</li> <li>・医師、看護師、保健師の国家試験合格率の推移を示し評価する。</li> </ul>

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
	⑦大学間連携を推進する。	学事課 教育センター (教学委員会)	⑦ ・4大学間での学生教育交流やSD研修、首都大学東京からの特別科目等履修生の受入を行い、継続的に大学間連携を行う。 ・中期計画期間中に大学間連携について評価する。
<b>○大学院教育</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床を支える研究を推進する。</li> <li>・社会に開かれた大学院となるように改善し、生涯学習の場を提供する。</li> <li>・高い倫理観と判断力に優れた研究者を育成する。</li> <li>・医学教育に優れた研究者を育成する。</li> <li>・臨床研究に優れた研究者を育成する。</li> <li>・研究者育成のためのカリキュラムを策定する。</li> <li>・看護実践を支える看護研究を推進する。</li> </ul>	<p>①豊富な症例を対象とした臨床研究を行うため基盤整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トランスレーショナルリサーチを推進する環境を整備する。</li> </ul> <p>②社会人入学の推進を図る。</p> <p>③研究者に必要な倫理観、判断力を涵養するプログラムを策定する。</p> <p>④共通カリキュラムの改善を図る。</p> <p>⑤看護学専攻修士課程における「教育・研究」を充実させ質を高める。</p>	学事課 (大学院委員会、研究科委員会)	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・星薬科大学と大学院共通カリキュラムの単位互換・大学院研究助成金、研究科研究推進費の運用・FD活動の実施によりトランスレーショナルリサーチの環境整備を行い、臨床に還元できる研究を推進する。</li> <li>・中期計画期間中に基盤整備により臨床を支える研究が推進されたか評価する。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・eラーニングやホームページ、慈大新聞などによる社会人入学の推進により、社会人入学者を増やす。</li> <li>・中期計画期間中に社会人入学者の推移を示し評価する。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院生からの意見・要望に基づき「医学教育学」の内容検証を行い、倫理観、判断力を涵養するプログラムを策定する。</li> <li>・倫理観と判断力に優れた研究者が育成される仕組みであるか評価する。</li> </ul> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人大学院生のニーズに合った共通カリキュラムを実施する。</li> <li>・共通カリキュラムの改善による成果を評価する。</li> </ul> <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会やFDを実施し、質の高い看護学専攻修士課程となるよう努める。</li> <li>・看護学専攻修士課程の設置、その後の運営、質について評価する。</li> </ul>



中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
<p>(2) 教育内容等に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた人材の獲得に向けて医学科入学試験方法を改善する。</li> <li>・看護学科の志願者増を視野に入れ、入学試験を改善する。</li> <li>・カリキュラムの点検・評価を行い改善する。</li> <li>・問題解決能力涵養のための教育形態を策定する。</li> <li>・臨床能力を向上させるための方略を策定する。</li> <li>・質の高い医療人を育成するための厳正で適切な評価を行う。</li> <li>・国際交流を推進する。</li> <li>・卒業教育カリキュラムを改善し公開する。</li> </ul>	<p>(2) 教育内容等に関する措置</p> <p>①医学科・看護学科の入学試験を改善する。</p> <p>②医学科と看護学科のカリキュラムを点検し改善する。</p> <p>③モデル・コア・カリキュラムを考慮した医学科の特色あるカリキュラムを継続的に検討する。</p> <p>④医学科の交換留学制度を充実させる。</p> <p>⑤レジデント教育プログラムを改善して学内外の医学生に公開する。</p> <p>⑥高校訪問やオープンキャンパスを積極的にを行い、看護学科受験者増を図る。</p> <p>⑦看護学科の定員を増やす。</p> <p>⑧看護学科の講義、実習、演習の比率を改善する。</p>	<p>学事課 (入試委員会)</p> <p>学事課</p> <p>学事課 (教学委員会)</p> <p>学事課</p> <p>学事課 (国際交流委員会)</p> <p>臨床研修センター</p> <p>教育センター</p> <p>臨床研修センター 教育センター</p> <p>学事課 (看護学科広報委員会)</p> <p>学事課</p> <p>学事課 (教学委員会)</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験説明会への参加拡大や効果的な受験相談会の実施により優れた人材確保を行う。</li> <li>・広報媒体「受験インフォメーション」の内容刷新や高等学校の新学習指導要領に基づいた試験科目の検討により看護学科の志願者を増加させる。</li> <li>・中期計画期間中に医学科・看護学科の入学試験方法の改善について評価項目を作成し評価する。</li> </ul> <p>②医学科－現行のカリキュラム分析を行い、問題解決能力を涵養する教育形態を策定する。</p> <p>看護学科－改正したカリキュラムの円滑運用と学生定員増に向けたカリキュラム改訂を行う。</p> <p>③医学教育の国際化・国際認証に対応し、グローバルヘルス実習の導入などモデル・コア・カリキュラムを考慮しつつ、特色あるカリキュラムへ改訂する。</p> <p>②③医学科・看護学科のカリキュラム改善による成果を評価する。</p> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流室の活動状況を検証し交換留学制度を充実させる。</li> <li>・中期期間中に交換留学制度について評価する。</li> </ul> <p>⑤-1 レジデント教育プログラムの見直しを診療科に呼びかけプログラムを充実させ、公開する。</p> <p>⑤-2 シミュレーション教育を活用し、レジデント教育プログラムに入れ活用する。</p> <p>⑤-3 中期計画期間中のレジデント教育プログラム制度について評価する。</p> <p>⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員増に向けた秋季大学説明会開催や新規広告掲載により看護学科の受験者増を図る。</li> <li>・看護学科の受験者数の推移を示し評価する。</li> </ul> <p>⑦入学定員増の申請を完了する。また教員採用、実習施設の確保等、計画を立てて実行する。</p> <p>⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年改正カリキュラムの2年次運用に向けた準備と実習教育を見直し講義、実習、演習のバランスを整える。</li> <li>・講義、実習、演習の比率の改善について評価する。</li> </ul>

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
	<p>⑨看護における臨床技能を高めるために実習方法を改善する。</p> <p>⑩看護学科の海外実習を推進する。</p>	<p>学事課 (教学委員会)</p> <p>教育センター</p> <p>学事課 (教学委員会) 教育センター</p> <p>学事課 (看護学科国際交流委員会)</p>	<p>⑨-1 技能不十分な部分を強化するカリキュラムを実施し、看護の臨床技能を高める。</p> <p>⑨-2 シミュレーション教育施設の利用者増やeラーニング活用による研修前後の評価、再履修システムの構築を図り、看護の臨床技能を高める。</p> <p>⑨-3 第2回エデュケーションナーズ研修、4機関看護部「看護管理者研修」を開催する。</p> <p>⑨-4 看護の臨床技能が習得できる仕組みとなっているか評価する。</p> <p>⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ看護研修や国際看護交流協会の研修の他、新たな研修先を視察し看護学科の海外実習を活性化する。</li> <li>・中期計画期間中に看護学科海外実習プログラム実施状況とその成果を評価する。</li> </ul>
<p>(3) 教育の実施体制等に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の適正配置を検討する。</li> <li>・教育環境を整備する。</li> <li>・教員の教育能力の向上に努める。</li> <li>・教員評価を実施する。</li> </ul>	<p>(3) 教育の実施体制等に関する措置</p> <p>①教育・研究を考慮した教員の適正配置と教員数を検討する。</p> <p>②講義室などの教育環境整備を行う。</p> <p>③教育能力向上のための教育研修を実施する。</p>	<p>教員 医師 人事室</p> <p>学事課</p> <p>教育センター</p> <p>学事課 教育センター</p> <p>学事課</p> <p>総務課 教育センター</p> <p>学事課 総務課 教育センター</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・研究を考慮した教員の適正配置と適正な教員数を設定する。</li> <li>・中期計画期間中に教員の配置推移を示し、評価する。</li> </ul> <p>②-1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育環境の点検・整備を行う。</li> <li>・看護実習室の環境を整備する。</li> </ul> <p>②-2 葛飾医療センター、柏病院のシミュレーション教育環境整備を支援する。</p> <p>②-3 中期計画期間中に教育環境整備について評価する。</p> <p>③-1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学科はFDおよびSDを継続的に開催する。</li> <li>・看護学科は大学院、国領校との共催FDおよび看護学科主催のFDを継続開催する。</li> </ul> <p>③-2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯教育のための月例セミナー・夏季セミナーを継続的に開催する。</li> <li>・学外実習の指導者を対象とした心音セミナー・呼吸音セミナーを継続的に開催する。</li> </ul> <p>③-3 中期計画期間中に教育研修・セミナーによる教育能力の向上を評価する。</p>



中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
	<p>④学生確保のために積極的な広報活動を行う。</p> <p>⑤学生生活支援を積極的に行う。</p>		<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの充実、進学情報誌への広告強化、学校説明会の開催、業者主催の進路説明会出席、指定校の訪問、指定校の精選を行う。</li> <li>・中期計画期間中に応募状況、入学者数の推移を示し学生確保の広報活動について評価する。</li> </ul> <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期面接・保護者との協力による指導強化</li> <li>・1年生への学習方法の指導強化</li> <li>・進度の異なる学生への学習支援強化</li> <li>・柏看護専門学校の奨学金制度開始</li> <li>・3看護専門学校の学生生活支援制度について評価する。</li> </ul>
<p><b>2. 研究に関する目標</b></p> <p>(1) 研究水準及び研究成果に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床を支える質の高い研究を振興する。</li> <li>・論文発表を促進する。</li> <li>・国際的に高い評価を受けることができる研究を推進する。</li> </ul>	<p><b>2. 研究に関する措置</b></p> <p>(1) 研究水準及び研究成果に関する措置</p> <p>①教員の職位に応じた論文発表を評価する。</p> <p>②国際誌への投稿を推進する。</p> <p>③Jikeikai Medical Journalの充実を図る。</p>	<p>学術情報センター 大学院委員会</p> <p>学事課 大学院委員会</p> <p>学術情報センター 大学院委員会 学事課</p> <p>学術情報センター</p>	<p>①-1『教育・研究年報』『Reach Activities』の原稿執筆時期に業績データシステムの入力を促進する。教員評価システムからReaDへのデータ転送手順を見直す。</p> <p>①-2 研究科教授の研究業績を再評価する。</p> <p>①-3 中期計画期間中の『教育・研究年報』『Reach Activities』『ReaD』等のデータをもとに論文発表について評価する。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要度が高いテーマで「医学論文の書きかた講習会」、「データベースの操作説明会」を開催する。</li> <li>・中期計画期間中に国際誌への投稿数について評価する。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文投稿の促進、掲載論文の質の向上を図る。利益相反(COI)・倫理に関する記載を投稿規程に入れる。</li> <li>・査読が決められた期間内に終了するための方策を検討する。</li> <li>・中期計画期間中のJikeikai Medical Journalの内容充実について評価する。</li> </ul>
<p>(2) 研究実施体制等の整備に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究環境を整備する。</li> <li>・臨床研究を推進する体制を構築する。</li> <li>・先進的研究実施体制を作る。</li> <li>・寄付講座制度を活用する。</li> <li>・大学の研究費予算を見直す。</li> <li>・効率的な人員配置をする。</li> <li>・学内横断的研究プロジェクトを推進する。</li> </ul>	<p>(2) 研究実施体制等の整備に関する措置</p> <p>①臨床研究支援体制を構築する。</p>	<p>総合医科学研究センター</p>	<p>①総合医科学研究センターを更に充実させ臨床研究支援体制を構築する。</p>

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
	<p>②先端研究を推進する体制を作る。</p> <p>③トランスレーショナル研究推進体制を作り振興する。</p> <p>④寄付講座を振興する。</p>	<p>大型プロジェクト対策委員会 総合医科学研究センター</p> <p>大型プロジェクト対策委員会 総合医科学研究センター</p> <p>総合医科学研究センター 大型プロジェクト対策委員会</p> <p>大学事務部 研究支援課</p>	<p>②-1 基礎講座、臨床講座と総合医科学研究センターとの共同研究数を増やし大学全体としての絞った先端研究を支援していく。</p> <p>②-2 現在行われている学内横断的研究プロジェクトを推進し評価する。</p> <p>③-1 研究費の獲得や共同研究体制の維持により、さらに成果を進展させる体制を構築する。</p> <p>③-2 ・再生医療に関する学内体制の整備を進め新たな分野の研究を推進する。 ・臨床を含めた独自プロジェクトを開拓する。 ・学内横断的研究体制を整備し大型の研究費獲得を目指す。</p> <p>①②③中期計画期間中に研究推進体制の整備について評価する。</p> <p>④ ・大学におけるメリットを検討しながら、引続き寄付講座の増設に向けた取組を行う。 ・中期計画期間中の寄付講座数について評価する。</p>
<p>(3) 総合医科学研究センターに関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各研究所・研究室の活動を定期的に点検・評価する。</li> <li>競争的研究資金の獲得を目指す。</li> <li>各研究所・研究室の特色ある研究を推進する。</li> <li>研究支援部門の充実を図る。</li> </ul>	<p>(3) 総合医科学研究センターに関する措置</p> <p>①自己点検・評価を推進し外部評価を受ける。</p> <p>②研究成果を積極的に開示する。</p> <p>③各研究所・研究室の特色ある研究を推進し、情報公開に努める。</p>	<p>総合医科学研究センター 運営委員会</p>	<p>①総合医科学研究センター自己点検の内容を評価・検討し、実行に移す。</p> <p>②DNA医学研究所・臨床医学研究所合同発表会に、総合医科学研究センター内の他研究施設が多く参加できる体制を構築する。</p> <p>③ホームページを整備し、各研究所研究室の特色ある研究および情報の公開を推進する。</p> <p>①②③中期計画期間中の総合医科学研究センターの研究活動について評価する。 (競争的研究的資金の獲得状況、特色ある研究、研究支援部門の充実)</p>
<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医学・看護に関する情報を公開し社会に貢献する。</li> </ul>	<p>(4) その他の目標に関する措置</p> <p>①知的財産を社会に還元するために市民公開講座を積極的に開催する。</p>	<p>教育センター (公開講座推進委員会)</p>	<p>① ・大学主催公開講座(25回程度)および地域の看護職を対象とした公開講座を開催する。 ・中期計画期間中の公開講座開催状況を示し社会貢献度を評価する。</p>

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
<p>3. 附属病院（4病院）に関する目標</p> <p>(1) 医療安全・感染対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・附属4病院間の連携強化と医療安全体制の整備を図る。</li> <li>・教職員の教育・研修を充実させ医療安全・感染対策に対する意識の向上を図る。</li> <li>・全国の私立医科大学病院の医療安全・感染対策推進活動に貢献する。</li> </ul>	<p>3. 附属病院（4病院）に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>(1) 医療安全・感染対策の推進に関する措置</p> <p>①医療安全・感染対策管理体制の点検・評価を実施する。</p> <p>②教職員の教育・研修の定期的開催と医療安全文化を醸成する。</p> <p>③医療問題および感染症発生時の迅速な対応体制を確立する。</p>	<p>医療安全 管理部</p>	<p>①</p> <p>【医療安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・附属4病院セーフティマネジメント委員会や4病院相互ラウンドによる連携強化と問題解決を行う。</li> <li>・セーフティマネジメントマニュアルの点検を行い標準化を図る</li> </ul> <p>【感染】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・附属4病院感染対策ベンチマークを継続実施する。</li> <li>・アウトブレイク発生時の支援及び事例検討を行い再発予防に努める。</li> <li>・4病院の感染担当の看護師、薬剤師が連携を図る。</li> </ul> <p>・中期計画期間中に医療安全体制の整備について評価する。</p> <p>②</p> <p>【医療安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各附属病院で、病院としてのTeam STEPPS導入を検討する</li> <li>・Team STEPPSのトレーナーの育成を行う</li> </ul> <p>【感染】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策ベーシックコースを実施する。</li> <li>・職種(部署)毎の効果的な教育の実施により未受講者を減少させる</li> <li>・感染対策上重要な疾患(結核、カテーテル感染など)の教育を行う</li> </ul> <p>・中期計画期間中に医療安全文化の醸成について評価する。</p> <p>③</p> <p>【医療安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・附属4病院セーフティマネジメント委員会での事例検討と改善策の共有、日々の業務の中で病院間の連携を図り医療問題の解決に取り組む。</li> </ul> <p>【感染】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場や検査室からの報告体制の見直しを行い、ICT・現場・細菌室との連携を強化する</li> </ul> <p>・中期計画期間中の医療安全体制の改善について評価する。</p>



中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
	<p>④私立医科大学病院間の相互ラウンドを実施する。</p> <p>⑤システム工学を応用して業務を可視化し根本原因の検索とシステム改善を行う。</p>	医療安全 管理部	<p>④</p> <p>【医療安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たにラウンドする施設の取り組みを参考に当院の医療安全推進活動の見直しを行う。</li> </ul> <p>【感染】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立医科大学協会の事務局として、相互ラウンド、サイトビジット、各作業部会などの事業を継続実施する。他施設の優れた点を当院に積極的に取り入れる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画期間中に私立医科大学病院間の医療安全・感染対策推進活動について評価する。</li> </ul> <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投薬ミス（本院、第三）、患者誤認（葛飾医療センター・柏）をテーマに東大・早稲田・慈恵で共同研究を行い、各現場での取り組みの浸透を目指す。</li> <li>・葛飾医療センターでの手術業務プロセスに沿って運用フローを作成し、実用化を目指す。</li> <li>・東大・早大・慈恵大共同研究による医療安全システムの改善成果を評価する。</li> </ul>
<p>(2) 先進医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者ニーズにこたえる先進医療に取り組む。</li> </ul>	<p>(2) 先進医療の推進に関する措置</p> <p>①医療の質と技術向上のための取り組みを推進する。</p>	臨床研修 センター 管理課	<p>①-1 鏡視下トレーニングコースを継続的に運用し医療の質と技術向上に取り組む。</p> <p>①-2 各診療科からの要望に応えられるよう情報収集を行い、医療の質・技術向上に取り組む患者ニーズに対応した先進医療を提供する。</p>
<p>(3) 患者サービス・病診・病病連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者中心の医療を円滑に推進する。</li> <li>・住民参加によるボランティアサービスの充実を図る。</li> </ul>	<p>(3) 患者サービス・病診・病病連携の推進に関する措置</p> <p>①医療連携を進める具体的な体制整備を行う。(医師・看護師・MSW等が協働できる体制)</p> <p>②ボランティア受入れ体制を整備・強化する。</p> <p>③退院・転院・在宅医療などの支援業務を一体化する。</p> <p>④患者の立場に立ったプライマリケアを実践する。</p>	<p>患者支援・医療連携センター</p> <p>ボランティア事務局</p> <p>患者支援・医療連携センター</p> <p>管理課</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療連携の体制を整備し病院戸別訪問を継続的に実施する。</li> <li>・中期計画期間中の医療連携の体制整備について評価する。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動者募集や活動内容の検討によりボランティア受入体制の整備を強化する。</li> <li>・中期計画期間中のボランティアの受入れ体制整備を評価する。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期退院や長期入院患者の退院支援をし退院・転院・在宅医療などの業務を一体化する。</li> <li>・中期計画期間中の退院・転院・在宅医療などの業務一体化を評価する。</li> </ul> <p>④ 答申に基づき総合的診療を行う診療部の組織充実を図る。</p>

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
<p>(4) 効率的な医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 附属4病院で効率的なDPC運用を図る。</li> <li>・ 職種間の効率的な協働体制を構築する。</li> <li>・ 科学的根拠に基づく医療の効率化を推進する。</li> </ul>	<p>(4) 効率的な医療の推進に関する措置</p> <p>①DPCに対応したクリニカルパスを普及し、治療の標準化、医療の安全と効率化を図る。</p> <p>②医師、看護師、コメディカル、事務職の効率的な業務分担の推進を図る。</p> <p>③各病院および地域とIT化を検討する。</p>	<p>業務課 (本院、葛飾、第三、柏)</p> <p>薬剤部</p> <p>企画部</p> <p>業務課 (本院、葛飾、第三、柏)</p> <p>薬剤部</p> <p>企画部</p> <p>業務課</p> <p>人事課</p> <p>教員医師</p> <p>人事室</p> <p>システム課</p>	<p>①-1 診療報酬改正後、減収症例の改善策をクリニカルパスに反映させる。</p> <p>①-2 後発薬品への切替を進めると共に、一般名処方についての検討を行う。</p> <p>①-3 外来疾病別原価分析を行う。</p> <p>①-4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中期計画期間中のDPCに対応したクリニカルパスの普及状況を評価する。</li> <li>・ 中期計画期間中の後発薬品の切替状況を評価する。</li> <li>・ 中期計画期間中の科学的根拠に基づく医療の効率化を評価する。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師の業務軽減、中央棟全病棟の事務効率化、医師の事務作業の軽減、標準作業手順書の作成等により業務分担を推進する。</li> <li>・ 中期計画期間中の職種間の効率的な協働体制を評価する。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第三病院システムベンダーを選択検討し、共通操作性のあるIT化を図る。</li> <li>・ 中期計画期間中のシステム導入による効率化を評価する。</li> </ul>
<p>(5) 予防医学の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学として予防医学に貢献する。</li> <li>・ スポーツウェルネスクリニックとスポーツ医学の再興。</li> </ul>	<p>(5) 予防医学の推進に関する措置</p> <p>①総合健診・予防医学センターと各病院との連携を強化する。</p> <p>②スポーツ・ウェルネスクリニックとスポーツ医学研究を見直す。</p>	<p>総合健診</p> <p>・ 予防医学センター</p> <p>整形外科</p> <p>リハビリテーション科</p> <p>整形外科</p> <p>リハビリテーション科</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各病院との連携強化や新システム更新に向けた検討を行う。</li> <li>・ 中期計画期間中の予防医学への貢献を評価する。</li> </ul> <p>②-1 競技団体との共同で骨代謝動態について測定する。</p> <p>②-2 体力医学研究の学会発表や論文発表を行い、スポーツウェルネスクリニックとスポーツ医学研究の再興を図る。</p> <p>②-3 中期計画期間中にスポーツウェルネスクリニック・スポーツ医学研究の振興について評価する。</p>



中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
<p>●附属病院（本院）に関する目標</p> <p>(1) 医療の質の向上を図る。</p>	<p>●附属病院（本院）に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>①特定機能病院としての機能を充実させる。</p> <p>②東京都認定がん診療病院としての機能を充実させ、がん診療連携拠点病院の指定を目指す。</p> <p>③人材育成（スキルアップ）を行う。</p> <p>④院内研修制度の充実を図る。</p>	<p>管理課 (運営会議 担当委員会)</p> <p>管理課 業務課 (診療情報 室) 患者支援・医療 連携センター 薬剤部</p> <p>教員医師 人事室</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各診療科への支援策強化や高度および先進医療技術の実施申請方法の簡素化を行い、特定機能病院としての機能を充実させる。</li> <li>中期計画期間中に特定機能病院としての機能充実について評価する。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域がん診療連携拠点病院」としてがん医療に対する更なる高度医療を提供する。</li> <li>登録項目の定義変更と、東京都地域がん登録事業開始に向け、全がん種の登録作業を関連委員会で調整、スケジュールの見直し等を行い登録作業を継続する。</li> <li>緊急使用等の場合を除き、原則として手書き伝票の使用は認めない等の運用基準を明確にする。</li> <li>登録レジメンの定期的なメンテナンスを行い、レジメンオーダーシステムの安定稼働を図る。</li> <li>腫瘍センターサロンにおける患者サロンの企画、運営を行う。</li> <li>がん診療連携拠点病院指定に向けた取組みについて評価する。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若手医師のレベルアップのためCPCを年6回、医療安全カンファレンスを年3回開催する。</li> <li>中期計画期間中の人材育成制度、人材育成を評価する。</li> </ul> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鏡視下トレーニングコースの運用推進を図り、院内研修制度の充実が質の高い医療の提供に繋がったか評価する。</li> <li>中期計画期間中の院内研修制度を評価する。</li> </ul>
<p>(2) 先進（高度）医療を開発し、施行する。</p>	<p>①鏡視下手術トレーニングコースの充実を図る。</p>	<p>臨床研修 センター</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>STEP2（アニマルラボにおいてより実践的な手技の評価を行う）を継続的に実施し、受験者、合格者の増加を図る。また定期的にSTEP3の認定試験を行い、本運用に備え各種検証を行う。</li> <li>中期計画期間中に鏡視下手術トレーニングコースの評価および先進医療への貢献について評価する。</li> </ul>

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
(3) 医療安全・感染対策管理体制の充実と推進を図る。	①医療安全・感染対策に関する組織横断的な活動を推進する。	医療安全管理部	① 【医療安全】 ・ Team STEPPS エッセンシャルコースの継続 ・ Team STEPPS の実践をめざしたRRT、シミュレーション教育の検討 ・ CVC挿入手技の可視化と合併症率減少を目指した取り組み ・ 医療問題発生報告システムの再構築 【感染】 ・ 耐性菌対策を現場へ浸透させるため、病棟（部署）単位での教育啓発活動および情報共有を更に推進する ・ 耐性菌の関与しやすい感染症（術後感染、カテーテル感染など）の対策を推進する  ・ 中期計画期間中の医療安全・感染対策管理体制を評価する。
(4) 患者・家族の満足度の向上を図る。	①インフォームド・コンセントを徹底する。	管理課 医療安全推進室	① ・ インフォームド・コンセントに関する事項を該当科へフィードバックし、患者・家族の満足度を向上させる。 ・ 中期計画期間中の患者・家族の満足度について評価する。
(5) 地域連携促進ときめ細やかな医療サービスを提供する。	①患者支援・医療連携センターの機能充実を図る。	患者支援 医療連携センター	① ・ BSCをタイムリーに評価・修正を行い患者支援・医療連携センターの機能を上げる。 ・ 中期計画期間中の地域連携促進について評価する。
(6) 臨床研究を促進する。	①薬物治療学研究室、臨床疫学研究室、分子疫学研究室と連携し、臨床研究を推進する。	臨床試験 支援センター	① ・ 実施率及びデータの信頼性の向上に努め、新規治験の依頼件数を増加する。 ・ 国際共同治験、医師主導治験へ積極的に参画する。 ・ 薬物及び医療機器治験審査委員会委員の教育として勉強会を開催する。 ・ 中期計画期間中の臨床研究の推進状況を評価する。

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
(7) 効率的医療を推進する。	<p>①オーダーリングシステム導入による効率的な運用を図る。</p> <p>②効率的な診療体制の構築を図る。</p> <p>③手術室の効率運用を図る。</p> <p>④救急患者受入れの体制整備を行う。</p>	<p>業務課 システム課</p> <p>ICU</p> <p>看護部 (外来委員会)</p> <p>ICU 看護部 (外来委員会)</p> <p>手術部</p> <p>中央材料室</p> <p>手術部 中央材料室 救急部</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジメンオーダの全科稼働を図る。</li> <li>・オーダーリングシステム導入による効率化について評価し、今後のシステム導入を検討する。</li> </ul> <p>②-1 医療安全推進室を中心としてRRS（rapid response system）委員会の運用を推進する。</p> <p>②-2 外来点滴室の利用件数月350件および看護師穿刺率85%台を目指す。</p> <p>②-3 中期計画期間中の効率的な診療体制、外来診療体制を評価する。</p> <p>③-1 外来棟手術室の利用率を向上し手術室を効率的に運用する。</p> <p>③-2 外来棟・中央棟の委託業務を見直し、手術器械の供給・回収方法を改善させ、手術室を効率的に運用する。</p> <p>③-3 中期計画期間中の手術室の効率・運用改善状況を評価する。</p> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慈恵4病院間の救急連携を一層強化し、救急患者受入の体制を整備する。</li> <li>・附属病院の救命救急体制を充実する。</li> <li>・中期計画期間中の救急受入体制の改善状況を評価する。</li> </ul>
(8) コスト管理の強化と収益性の向上を図る。	<p>①月次医療収支額を把握する。</p> <p>②DPCデータの他大学とのベンチマークを実施する。</p> <p>③医療材料のSPD業務の再編を行う。</p>	<p>事務部</p> <p>企画部</p> <p>事務部 財務部 企画部</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月次医療収支額を把握する。</li> <li>・中期計画期間中に月次医療収支状況把握によるコスト管理を評価する。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DPCデータの他大学とのベンチマークを実施する。</li> <li>・中期計画期間中に他大学とのベンチマーク実施による効果について評価する。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学全体の物流全般に関する将来計画を策定する。</li> <li>・中期計画期間中の物流改善について評価する。</li> </ul>
(9) 情報公開の条件を整備する。	<p>①診療情報を評価するシステムを構築する。</p>	<p>管理課 企画部</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に病院年報を発刊し情報公開を進める。</li> <li>・中期計画期間中の情報公開状況を評価する。</li> </ul>

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
(10) 教職員の職場満足度を向上させる。	①働きやすい環境整備等を行う。  ②女性教職員・女性医師の復職を支援する。	企画部 管理課 教員医師 人事室  教員医師 人事室 管理課 看護部 人事課 給与厚生課	① ・アンケート調査や各科医局長からの聞き取り調査を更に積極的に実施し、女性医師キャリア支援室の活動を推進する。 ・中期計画期間中の職場環境改善状況を評価する。 ② ・病児預かり室の利用改善や他職種への拡大を検討する。 ・整備した支援体制の活用を推進するため周知を図り、女性教職員・女性医師の復職を支援する。 ・女性教職員の職場環境改善を評価する。
(11) 晴海トリトンクリニックの将来構想を見直す。	①晴海トリトンクリニックの機能を点検・評価する。	晴海トリ トンクリ ニック	①晴海トリトンクリニックの機能を点検・評価し、将来構想を策定する。
●葛飾医療センターに関する目標  (1) 管理運営を強化する。	●葛飾医療センターに関する目標を達成するためにとるべき措置 ①開かれた組織体制を構築する。  ②各運営委員会を活性化し、病院長の諮問機関としての役割を強化する。	葛飾医療 センター (運営会議・ BSCWG)  運営会議	① ・病院BSC、各部署BSCのブラッシュアップと各診療部BSCの作成を行う。 ・開かれた組織体制の構築ができたか評価する。 ② ・IT関連委員会の設置および診療情報委員会の見直しを行う。 ・各運営委員会の病院長の諮問機関としての役割を評価する。
(2) 財政基盤を磐石にする。	①収支を改善し、経営の安定化を図る。  ②発生主義に基づく予算管理、収益性分析、生産性分析による経営課題を解決できるシステムを構築する。	事務部  運営会議 事務部	①-1 医療材料費、システム関連経費、委託費など投資効果を医療収入に反映した予算を策定する。 ①-2 医療技術職、事務職の必要数を確定検証する。 ①-3 中期計画期間中の収支改善・経営安定化について評価する。 ② ・数値化、可視化された収益性分析、生産性分析情報を有効活用する。 ・経営分析システムの構築について評価する。

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
(3) オープン・システムを構築する。	<p>①附属4病院連携、地区医師会、連携医療施設、行政とのネットワーク整備をする。</p> <p>②学内連携を図ることによって、診療、教育体制を強化するとともに、教育研修制度を整備する。</p> <p>③東京都看護職員復職支援研修施設として対象者を受け入れる。</p>	<p>入退院医療連携センター</p> <p>運営委員会</p> <p>看護部 事務部</p> <p>運営委員会</p> <p>看護部 事務部</p>	<p>①-1 ・新病院の診療機能をPRし、地域中核病院としての役割を強化する。</p> <p>・附属4病院連携、地区医師会、連携医療施設、行政とのネットワーク整備を行いオープンシステムを構築する。</p> <p>①-2 後方医療機関の新たな開拓と患者支援・医療連携センターの機能向上により円滑な連携(転院)体制を確立し、オープンシステムを構築する。</p> <p>①-3 葛飾医療センターのオープンシステムについて評価する。</p> <p>② ・医療連携フォーラムと公開カンファレンスを同時開催する。</p> <p>・診療・教育体制、教育研修制度について評価する。</p> <p>③東京都看護職員復職支援研修の過去の研修内容を検証し、事業受託の要否を検討する。</p>
(4) 診療体制及び重点機能を強化する。	<p>①総合内科・救急医療の協働体制を確立し、患者受入体制を強化する。</p> <p>②手術室の物流を改善し効率運用を図ることによって手術数を増加させる。</p> <p>③医療の効率化、透明化、標準化を図る。</p> <p>④患者フローの視点で、入院から退院・転院まで一貫したコーディネートを行う。</p> <p>⑤新病院にICU・CCUを設置する。</p>	<p>運営会議 運営委員会</p> <p>運営委員会 手術部</p> <p>運営委員会 事務部</p> <p>看護部 医療連携センター</p> <p>運営会議 ICU・CCU 委員会</p>	<p>① ・プライマリーケアユニットが円滑運用できる体制を確立する。</p> <p>・プライマリーケアユニットの体制について評価する。</p> <p>② ・中央材料室部門の完全委託により手術室、血管撮影室の運用効率化を図り、手術件数を増加する。</p> <p>・手術室の効率運用について評価する。</p> <p>③ ・効果的なクリニカルパスを拡大し、医療の効率化、透明化、標準化を図る。</p> <p>・クリニカルパスの拡大等、医療の効率化、透明化、標準化推進について評価する。</p> <p>④入院から退院・転院まで一貫したコーディネートを行うよう医療連携・医療相談機能を強化する。PFMシステムについて評価する。</p> <p>⑤ ・集中治療室の入室の諸条件を整備し、病床の有効利用を図る。</p> <p>・ICU・CCU設置による機能強化について評価する。</p>
(5) 病院リニューアルを実施する。	<p>①大学病院、地域中核病院として患者志向の機能的な病院を建築する。(平成23年竣工を目指す。)</p>	<p>リニューアル委員会</p> <p>リニューアルTF</p> <p>運営委員会 事務部</p>	<p>①-1 開院後に既存病院の解体および土壌汚染の対処をし、平成24年秋に外構整備を完成する。</p> <p>①-2 患者志向の機能的な病院を建築できたか評価する。</p> <p>①-3 病院の事業継続計画(BCP)を策定する。</p>

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
<p>●第三病院に関する目標</p> <p>(1) 信頼される地域中核病院になる。</p>	<p>●第三病院に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>①診療に関する情報を公開する。</p> <p>②地域住民や行政への医療啓蒙行事を更に充実させる。</p> <p>③患者に対する対応を見直し改善を図り、積極的に患者を受け入れる。</p>	<p>第三病院 業務課</p> <p>第三病院 管理課</p> <p>第三病院 運営会議</p>	<p>①-1 診療に関する情報公開の開示項目を検討し更なる情報開示を行う。</p> <p>①-2 部門別BSCを目標管理制度へ落とし込み情報の“見える化”を推進する。</p> <p>①-3 中期計画期間中の情報公開の状況とそれによる地域からの信頼について評価する。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開健康セミナー、ホスピタルフェアを開催する。</li> <li>・中期計画期間中の地域住民や行政への医療啓蒙活動を評価する。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急搬送、救急患者増加に向けて外科系初期診療体制の更なる安定化と充実化を図り、積極的に患者を受け入れる。</li> <li>・近隣消防署との勉強等を通して救急隊との顔の見える関係を強化し、積極的に患者を受け入れる。</li> <li>・中期計画期間中の救急患者の受入れ状況の改善について評価する。</li> </ul>
<p>(2) 財政基盤を磐石にする。</p>	<p>①医療材料コストを見直す。</p>	<p>第三病院 管理課</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊材料および医療消耗品の使用分析や手術原価管理を行いコスト削減し評価する。</li> <li>・中期計画期間中の経営状況について評価する。</li> </ul>
<p>(3) 優秀な人材を確保する。</p>	<p>①診療部を評価する。</p>	<p>第三病院 管理課</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各診療部を多面的に評価し診療体制の改善を図る。</li> <li>・中期計画期間中の各診療部の状況を評価する。</li> </ul>
<p>(4) 特色ある医療を強化する。</p>	<p>①森田療法センターを本学の特色ある医療として内外に強く再アピールする。</p> <p>②各科の診療内容実績を分かりやすくアピールする。</p>	<p>第三病院 管理課</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森田療法センターの情報をタイムリーに提供し、患者増を図る。</li> <li>・中期計画期間中の森田療法センターの運営状況を評価する。</li> </ul> <p>②-1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療案内パンフレットを随時更新し、各科の診療実績をアピールする。</li> <li>・第三病院として特色ある医療強化について評価する。</li> </ul> <p>②-2 改修後の結核病棟の運営について検討する。</p>

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
(5) 信頼関係に基づいた病診・病病連携を実践する。	①病診連携、病病連携のための強化を図る。	第三病院 業務課  第三病院 管理課 業務課  第三病院 業務課	①-1 ・前方連携の拡大（紹介元医療機関の拡大と紹介患者数増） ・後方連携病院の開拓と関係強化（病床の有効利用と稼働率アップへの貢献） ・在宅医療推進のための地域訪問看護ステーションとの勉強会の開催 ①-2 近隣医師会並びに近隣DPC病院との情報交換を推進する。 ①-3 中期計画期間中の病診連携、病病連携の強化を評価する。
(6) 「お年寄りにも優しい病院」を目指す。	①高齢者に対する対応策を検討する。	第三病院 運営会議	① ・地区医師会会議、医療連携フォーラム等での意見交換を基に高齢者に配慮した病院機能の改善を継続する。 ・中期計画期間中の高齢者に対する対応を評価する。
(7) 癒しの病院環境を醸成する。	①施設改修による療養・職場環境改善を持続的に実践する。  ②入院患者向け行事を開催する。	第三病院 管理課    第三病院	① ・医局棟新1号館を7月竣工、3号館・青樹寮解体実施、新医局棟・法医棟25年2月着工等の施設改修を行い療養・職場環境改善を持続的に実践する。 ② ・入院患者向けに各種「癒しの行事」を継続開催する。 ①②中期計画期間中の患者の療養環境を評価する。
●柏病院に関する目標  (1) DPCに対応した医療の標準化・効率化を推進する。	●柏病院に関する目標を達成するためにとるべき措置 ①包括化による減収を回避する。  ②医療の効率化、標準化による安全を確保する。	柏病院 クリパス 委員会  柏病院 業務課  柏病院	①DPC請求と出来高請求の比較分析を実施し、見直しが必要なクリニカルパスについては、各診療部へ情報提供と改善提案を行い、効率的なクリニカルパス作成を推進する。 ②DPCに関する情報収集・分析を行い、関連部署・診療部に情報提供する。 ①②中期計画期間中のクリパスの導入等DPCに対応した医療の標準化・効率化について評価する。
(2) 地域中核病院として十分に機能する。	①入院から退院・転院まで一貫した患者支援を行う。病院のビジョンを共有し、急性期医療・地域医療に貢献する。	看護部 PFMワーキング・グループ BSCワーキング・グループ 医療連携 委員会	① ・情報の共有、活用により入院から退院（転院、在宅医療）の円滑化を推進する。 ・連携病院（後方病院）を確保、拡大し円滑な転院調整を推進する。 ・BSCの運用部署の拡大および組織的な評価・検証システムを構築する。 ・地域中核病院としての機能について点検・評価する。







中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
		柏病院 救急体制改善 ワーキング・ グループ  柏病院 将来構想 委員会	①-4 救命救急センターとして、 特に循環器疾患、脳血管障害、 大血管の救急患者への対応の充 実を図る。  ①-5 中期計画期間中に地域ニー ズに即した外来・入院機能となっ ているか評価する。
(6) 電子カルテの導入を検討する。	①導入によるメリット、デメリットを検討する。	システム課	① ・部門システム（内視鏡）を導入 する。 ・柏病院の病院情報システムにつ いて評価する。
<b>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標</b> <b>1. 運営体制の改善に関する目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会機能の強化を図る。</li> <li>・法令遵守の徹底を図る。</li> <li>・広報活動を充実する。</li> <li>・法人運営の総合的計画立案機能を強化する。</li> <li>・内部統制の強化を図る。</li> <li>・個人情報管理を徹底する。</li> </ul>	<b>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</b> <b>1. 運営体制の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</b> ①理事会機能を検証する。  ②慈恵大学行動憲章・行動規範の周知を徹底する。  ③施設基準等の定期点検を行う。  ④法令遵守の徹底を図る。  ⑤内部監査の充実を図る。  ⑥補助金（公的研究費、私立大学等経常費補助金等）に係る管理体制を充実する。	大学自己 点検評価 委員会  人事課 広報課 教員医師 人事室  管理課  人事課  監査室  研究支援課 経理課	① ・事業計画の点検・評価を継続して行い、理事会機能を検証する。 ・中期計画期間中の理事会機能強化を評価する。  ② ・新規採用教員に医師ハンドブックを配布する等して周知する。 ・広報誌及びホームページなど広報ツールを活用し、内外に向けて発信・周知する。 ・階層別研修時に改めて周知するよう研修項目に組入れる。 ・慈恵大学行動憲章・行動規範の周知について評価する。  ③診療報酬改定に伴う該当の施設基準等が算定できるようにする。  ④-1 ・病院機能評価「3-b」と評価された項目の業務見直しを行う。 ・次回病院機能評価受審の準備を開始する。 ・慣例的に行っている業務手順の見直しを評価する。  ④-2 就業環境改善のためのハラスメント等に関する情報提供を行う。  ⑤ ・補助金（研究費、経常費補助金等）監査、業務監査の充実、監事、外部監査人との連携により内部統制を強化する。 ・内部監査の効果を評価する。  ⑥ ・補助金（公的研究費、経常費補助金等）の管理体制を確立し、内部統制を強化する。 ・補助金（公的研究費、経常費補助金等）の管理体制について評価する。

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
	<p>⑦個人情報保護の継続的注意を喚起する。</p> <p>⑧本学の情報（社会貢献、研究成果、医療貢献）を学内外に発信する。</p> <p>⑨有事の際の広報体制確立と情報発信体制を確立する。</p> <p>⑩事業計画の実施状況を確認する。</p> <p>⑪BSCを普及拡大し、目標と進捗を把握、評価する。</p>	<p>総務課・管理課（個人情報保護委員会）</p> <p>広報課</p> <p>企画部</p>	<p>⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会を実施し継続して注意喚起を行う。</li> <li>・慈恵大学の個人情報管理について評価する。</li> </ul> <p>⑧-1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページリニューアルを段階的に行い閲覧しやすいサイトにする。</li> <li>・主に更新頻度の高いページを主体に入力し易い形式へ切り替える。</li> </ul> <p>⑧-2 メディア取材、広報誌・ホームページ・慈恵トピックス掲示板などを活用し、すべてのステークホルダーへ積極的に情報発信する。</p> <p>⑧-3 慈恵大学の情報発信が内外に対して十分に行われているか評価する。</p> <p>⑨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平時よりマニュアルを活用し、休日・夜間の有事の際の円滑な初期対応を行う。セミナー、勉強会、講演会を通じ他大学病院、民間企業事例を研究、蓄積し、有事を想定した危機管理体制を整える。</li> <li>・有事の際の広報体制、情報発信の仕組みが確立されているか評価する。</li> </ul> <p>⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期目標・計画に対する評価を行う。また次期中期目標・計画の立案に取り組む。</li> <li>・中期目標・計画に基づく各年度の事業計画の実施状況が適正に確認・検討され、次年度の事業計画に反映されているか評価する。</li> </ul> <p>⑪</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BSC新規作成部門を選定しワーキンググループを実施する。</li> <li>・総合的計画立案、実施するためのBSCの普及状況について評価する。</li> </ul>
<p>2. 人材育成・活用に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成のための教育制度を構築する。</li> <li>・業務の効率化を図り人件費を抑制する。</li> </ul>	<p>2. 人材育成・活用に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>①職員の人材育成制度を強化する。</p>	<p>人事課</p>	<p>①-1 OJTリーダー制度の問題点の改善および制度検証を実施する。</p> <p>①-2 キャリアパスを設定し人事異動を実施する。</p> <p>①-3 中期計画期間中の人材育成制度の改善について評価する。</p>

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
	<p>②人材の有効活用を視野に入れた人事システムを検討する。</p> <p>③人事評価システムを充実させる。</p> <p>④業務の見直し、配置人員の見直し、業務効率化と人件費最適化を図る。</p> <p>⑤教職員の定着率を高める。</p>	<p>人事課</p> <p>教員医師 人事室</p> <p>業務課 システム課 教員医師 人事室 人事課</p> <p>人事課 給与厚生課</p> <p>人事課 葛飾医療センター 第三病院 柏病院</p> <p>システム課 教員医師 人事室 人事課 給与厚生課</p> <p>人事課</p> <p>給与厚生課 人事課</p> <p>人事課 給与厚生課</p>	<p>②職員の学外研修を推進する。</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員評価システムへの各教員による入力件数を増加させ、データベースを充実する。</li> <li>・学長諮問会議での昇格審査において活用していく。</li> <li>・人事評価システムの改善について評価する。</li> </ul> <p>④-1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葛飾医療センターならびに柏病院救急救命センター（仮）の運営状況を注視し、医師人事委員会にて適宜必要医師数を検討する。</li> <li>・「慈恵・認定医療事務養成コース」で計画している医師事務作業軽減に繋がる業務を段階的に拡大し全診療科に普及する。</li> <li>・葛飾医療センターの運用変更やシステム導入の効果と要員数を検証する。</li> <li>・葛飾医療センター、柏病院の稼働状況に応じて常駐者の出向を解除、第三病院の体制を強化する。</li> </ul> <p>④-2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約職員の処遇を見直し、モチベーション向上につなげる。</li> <li>・パートタイム職員の処遇を見直し、各部署での活用拡大に努める。</li> </ul> <p>④-3 標準作業手順書作成作業を完了し掲載内容を検証する。また、各機関の手順書作成を推進する。</p> <p>④-4 中期計画期間中の人的資源・業務の効率化と人件費最適化について評価する。</p> <p>④-5 事務業務分掌規程を改定し、各部署の業務をより明確化する。</p> <p>⑤-1 継続して新入職員のアンケート調査を行い問題点を抽出する。</p> <p>⑤-2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部下のメンタルヘルス障害での休職と復帰時のルールを周知し支援体制を整備する。</li> <li>・人事課及び各機関担当者が新入職員メンタルフォロー面談を実施する。</li> <li>・メンタルヘルス対策向上に向け現状評価をもとに改善策を講じる。</li> </ul> <p>⑤-3 教職員の定着率の推移を示し評価する。</p>

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
	⑥看護師確保体制を確立する。	人事課 看護部	⑥ ・ナース就職支援室の設立、合同説明会参加数、求人訪問数および各種広告媒体への参画数を拡大により看護師を確保する。また柏病院に特化した採用活動を展開する。 ・看護師確保数の推移を示し看護師確保体制について評価する。
3. 事務の効率化・合理化に関する目標 ・IT導入による効率化を実現する。	3. 事務の効率化・合理化に関する目標を達成するためにとるべき措置 ①適正なITランドデザインを構築し、IT戦略を策定する。 ②附属4病院に電子カルテを含むIT化を推進し、効率化と患者満足度の向上を図る。 ③4病院連携、病診連携を考慮したネットワークの更新と再構築を行う。 ④経営管理データを一元管理し、経営判断を迅速に行える環境を構築する。	総務部 財務部 企画部  業務課 システム課 システム課  企画部  総務部 財務部 企画部 業務課 システム課	①IT適正運営のための新しい組織を発足し、IT投資の最適化に向け現状調査ならびにIT戦略を策定する。 ②平成24年度稼働に向け第三病院PACS計画を進める。 ③第三病院のネットワーク増強計画を立案する。地域連携を含む電子化の計画を推進する。 ④大学全体の経営管理データの一元管理について検討する。 ①②③④ 中期計画期間中のIT導入による効率化について評価する。
Ⅲ. 財務の改善に関する目標  1. 収支改善・外部資金獲得に関する目標 ・安定した経営基盤を確立する。 ・機動的な小グループ(タスク・フォース)の取り組みにより経営改善を推進する。 ・第三病院の収支構造を改善する。 ・科学研究費補助金・経常費補助金の獲得・増加に努める。	Ⅲ. 財務の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置 1. 収支改善・外部資金獲得に関する目標を達成するためにとるべき措置 ①予算実績管理体制を強化して効率的な運用推進の仕組みを策定する。  ②経営改善重要項目ごとに検討組織を設置し改善を推進する。	企画部 財務部  経理課   附属病院 葛飾医療センター 第三病院 柏病院	①-1大型設備投資(建設設備投資、大型医療機器)に関する中長期投資計画を策定する。 ①-2 ・消費収支状況の月次把握のシステム化を行う。 ・中期計画期間中に予算実績管理体制が改善されたか評価する。 ②-1 葛飾医療センター ・PCU機能の充実により「断らない救急」、「総合診療の強化」を実現する。 ・手術室機能アップと効率的な術室使用により、手術室手術件数5,000件を目指す。 ・クリパス拡大を推進し、より精度の高いDPC請求を行なう。 ・診療部への拡大を推進し、各部門ミッション・役割の明確化、全体最適へのベクトル合わせを行う。 ・医療連携センター機能強化により、紹介患者の集患を推進する。

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
	<p>③科学的な分析に基づき医療収支の改善を推進する。</p>	<p>第三病院 柏病院 附属病院 葛飾医療センター 第三病院 柏病院 研究支援課 大型プロジェクト委員会 教育研究助成委員会 業務課（附属病院、葛飾医療センター、第三、柏） 企画部</p>	<p>第三病院 ・救急患者受け入れ体制の更なる拡充 ・手術室の更なる効率的運用についての検討および術式別原価管理の継続 ・クリパスの拡充等によるDPCの適正化 ・BSCの運用による改善項目の検討実施 ・新規開院医療機関を含む近隣医療機関へのPR訪問の実施 柏病院 ・診療体制の更なる安定化と充実化を図り、救急患者数及び救急搬送数の増加に繋げる。 ・手術部と連携し、現行のDRGシステムを分析し、効率良く運用できるようにセット部材の充実を図る。 ・DPCに関する情報収集・分析を行い、関連部署・診療部に情報提供を行う。 ・運用部署の拡大を図るとともに、組織的な評価・検証システムを構築する。 ・①前方連携の拡大（紹介元医療機関の拡大と紹介患者数増） ②後方連携病院の開拓と関係強化（病床の有効利用） ②-2 中期計画期間における各機関の経営改善状況を示し評価する。 ②-3 ・平成24年度「私立大学戦略的研究基盤支援事業」へ応募申請し、研究の活性化と研究基盤を充実する。 ・科学研究費補助金・経常費補助金の獲得状況の推移を示し評価する。 ③ ・診療報酬改定後、DPC請求の影響度を分析ソフトを用い、減収となる症例の改善案を提案しクリパスに連動させる等収益を確保する。 ・中期計画期間中に医療構造の科学的分析により医療収支の改善がなされたか評価する。</p>

中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
<b>2. 経費の抑制に関する目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物流の効率化、一括購入により経費を抑制する。</li> <li>・各種資源の消費を削減する。</li> <li>・IT関連経費の適正化を図る。</li> </ul>	<b>2. 経費の抑制に関する目標を達成するためにとるべき措置</b> ①物流の見直し、購入組織の見直し、個別、疾病別の医療材料費を把握することにより改善を推進する。 ②医療経費の抑制を図る。 ③地球温暖化防止関連法規を遵守し、エコ活動を推進する。電気・ガス・水道・重油・電話・コピー・酸素等の経費削減を図るための具体策を実行する。	施設課 管理課 企画部 施設課 管理課 企画部 施設課	①医材・物流WGを中心に医療材料の4病院共同購入および使用期限切れ防止活動を行い、各種資源の消費を削減する。 ② <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を収集し診療情報評価システムを構築する。</li> <li>・医材・物流WGで医療経費をモニターし医療経費を抑制する。</li> </ul> ①②中期計画期間中の物流の改善による経費抑制を評価する。 ③ <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ委員会を開始する。夏の節電対策を行う。</li> <li>・中期計画期間中のエコ活動推進状況を評価する。</li> </ul>
<b>3. 資産の運用管理の改善に関する目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学的かつ経営的視野に立った資産の効率的な運用を図る。</li> <li>・適正な資金運用を促進する。</li> </ul>	<b>3. 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</b> ①施設・設備の効率的な維持管理と計画的整備を図る。 ②機器・備品の効率的な管理、投資計画を策定する。	施設課 財務部	① <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の効率的な維持管理計画を策定する。</li> <li>・長期的な施設・設備の維持管理計画を評価する。</li> </ul> ② <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入した資産管理システムを活用し、担当部署と協働して機器・備品の効率的な管理、投資計画を策定する。</li> <li>・長期的な機器の維持管理計画を評価する。</li> </ul>
<b>IV. 自己点検・評価の充実に関する目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検・評価結果を公表し、改善につなげる。</li> </ul>	<b>IV. 自己点検・評価の充実に関する目標を達成するためにとるべき措置</b> ①自己点検・評価を公表し、運営(中期目標・計画、支援、設備整備等)に関わる検討組織の審議に反映できるシステムを構築、運営する。	総務課 大学事務部 医学科 看護学科 総務課 大学事務部	①-1 学校法人慈恵大学の情報公開を継続して進める。 ①-2 平成21年度実施調査等の評価内容を踏まえ、助言・勧告等の懸案事項について委員会にて継続審議し対応する。 ①-3 大学基準協会の新しい評価基準への対応を検討する。 ①-4 平成21年度大学基準協会自己点検評価により指摘された事項の改善案を検討する。 ①-5 自己点検・評価委員会による慈恵大学 事業計画の点検・評価を行う。
<b>V. その他事業運営に関する重要目標</b> <b>1. 青戸病院リニューアルに関する目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針・基本コンセプトに基づく新病院を開設する。</li> </ul>	<b>V. 財務の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</b> <b>1. 青戸病院リニューアルに関する目標を達成するためにとるべき措置</b> ①青戸病院TFを設置し、リニューアル計画を推進する。 ②青戸病院リニューアル委員会を設置し、リニューアルTFと連携し、基本事項決定および行政折衝等を推進する。	青戸リニューアル委員会	①青戸病院リニューアル計画を完了する。 ①②青戸病院リニューアル計画が方針・コンセプトに基づき完成されたか評価する。



中 期 目 標	中 期 計 画	主体部署	平成24年度事業計画
<p>2. 附属病院外来棟建築に関する目標</p> <p>・ 本院外来棟の建築</p>	<p>2. 附属病院外来棟建築に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>①西新橋キャンパス全体を視野に入れ建築計画を策定する。</p> <p>②附属病院の機能分化と西新橋キャンパスの有効利用を考慮した外来棟の基本コンセプトを策定する。</p>	<p>マスター プラン検討 委員会</p>	<p>① ・ 慈恵大学の将来構想と西新橋キャンパス全体の建物基本計画を策定する。 ・ 西新橋キャンパスの建築計画を推進する。</p> <p>②新外来棟のコンセプトに基づき建築計画を具体化する。</p> <p>①②西新橋キャンパス整備計画の中間評価を実施する。</p>
<p>3. 大学マスタープランの策定に関する目標</p> <p>・ 明確な長期マスタープランを策定する。</p>	<p>3. 大学マスタープランの策定に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>①教育・研究・診療機能を総合的に考慮したマスタープランを策定する。</p>	<p>マスター プラン検討 委員会</p>	<p>①マスタープランを西新橋キャンパス建築計画と共に教育・研究・診療機能を総合的に考慮したプランに修正する。</p>
<p>4. 創立130年記念事業に関する目標</p> <p>・ 130年記念事業を実施する。 ・ 事業実現に必要な寄付金を確保する。</p>	<p>4. 創立130年記念事業に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>①“ともに歩む慈恵”にふさわしい記念事業を実施する。</p> <p>②記念事業に必要な寄付金を募集する。</p>	<p>生涯学習 センター</p> <p>130年記 念事業委 員会</p>	<p>①生涯学習のための月例および夏季セミナーを継続して開催する。</p> <p>②企業、同窓会、父兄会等に対し継続して募金を呼びかけ、寄付金を確保する。</p> <p>①②中期計画期間中の130年記念事業活動を評価する。</p>
<p>5. 大規模災害時の対応に関する目標</p> <p>・ 大規模災害発生時の体制を構築する。</p>	<p>5. 大規模災害時の対応に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>①大規模災害時の体制を強化する。</p> <p>②大規模災害に対応する施設・設備を整備する。</p> <p>③被災地への支援体制を構築する。</p>	<p>総務課</p> <p>総務課 栄養部 薬剤部 施設課 臨床工学部</p> <p>人事課</p> <p>施設課 システム課</p> <p>管理課 総務課 (災害対策 本部)</p> <p>総務課</p>	<p>①-1 大規模災害を想定した訓練の内容等を検証、改善し大規模災害発生時の新たな体制を構築する。</p> <p>①-2 ・ 備蓄食品、備品、行動に関するマニュアルを見直す。 ・ 日常在庫量、収納場所を検証し災害時の薬品全般の在庫確保と供給体制を改善する。 ・ 大規模災害発生時の供給体制をメーカー毎にリストアップし供給体制を検討する。 ・ 生命維持管理装置等の医療機器の耐震対策を行う。</p> <p>①-3 職員の出勤困難時の参集体制を整備する。</p> <p>② ・ 本院 救急医療体制の維持可能なシステム環境の整備計画を立案する。 ・ 大規模災害に対する建物・施設の整備を計画的に行う。</p> <p>③大規模災害発生時の医療支援体制を整備など、社会貢献を含めた被災地への支援体制を構築する。</p> <p>①②③BCP（事業継続計画）について検討し策定する。</p>